

平成23年度緊急災害時動物救護対策専門委員会の議事概要

I 日 時：平成23年10月19日（水） 13時30分～15時

II 場 所：新潟県獣医師会 会議室

III 出席者：

委員長 宮川 保

委 員 山田英一

委 員 松井潤次

(1名欠席)

事務局 遠藤副会長理事他職員1名

IV 議 題

(1) 今年度の取り組みについて

(2) 東日本大震災避難者同伴動物救護活動の中間報告について

(3) その他

V 会議概要

1 開 会

新潟県獣医師会事務局の司会で、次のとおり会議が進められた。

2 宮川委員長挨拶

4 議 事

(1) 今年度の取り組みについて

事務局から、防災用チラシの印刷物の作成について案が出され、今年度はチラシの裏面に県の動管センターの地図等の災害時の動物関係の問い合わせ先を地図入り等で表示するなど今年度中に更新印刷できるよう検討し、動物フェスティバル会場などに配布し啓発することとした。

また、緊急災害時動物救護に対する備品等については、今年度予算より、横断幕、のぼりを作成したことを報告し、今回の東日本大震災避難者同伴動物救護活動においては、動物救護マグネットステッカー、腕章等使用した旨を説明。

(2) 東日本大震災避難者同伴動物救護活動の中間報告について

事務局から、①3月18日、新潟県動物救済本部が設置されたこと ②東日本大震災対応ため、県獣医師会に避難者同伴動物救護本部を設置したこと ③新潟県における東日本大震災避難者同伴動物救護活動現況報告として、地震発生時から7月31日まで、対象者を一次、二次避難所の避難者同伴動物について、アンケート調査実施に基づき避難所における動物のノミ・ダニ予防、フィラリア予防、混合ワクチン接種の施療を開業の会員等にお願ひし獣医療支援を行った。かかった治療費については、動物救済本部会議（診療実績検討委員会）において治療費助成の算定基準を作成し、新潟県動物救済本部から支出した。

(社) 日本獣医師会から6月8日付けで被災動物の救護活動のため、「現地の動物救護本部の構成団体として、また地方獣医師会として救護活動に取り組んでいる地方獣医師会」に支援義援金が配分されることになり、当会へも100万円が配布され、獣医療支援の動物医薬品購入費として活用させていただいたことを報告。

また、熱中症対策の必要もあり動物病院での保護預かりを実施し、経費については、(社) 日本獣医師会からの支援義援金と県獣の災害対策費から支出した旨を説明。

8月1日～9月30日までについては、対象者をすべての避難者同伴動物とし、各動物病院での診療の際に、同伴動物1頭につき5,000円を上限に(5,000円未満は実費) 獣医療支援を行った。かかった治療費については、新潟県動物救済本部から支出することを説明。

今後の支援については、各事業については終了するが、動物用医薬品の在庫については、各動管センターにて活用していただく。支援物資(ペットフード等)については、10月末まで要望の状況を調査し、要望がなければ終了する。飼育相談等については、通常の相談と同様に受付、獣医療関係については、近隣の動物病院と相談する。新潟県動物救済本部については、仮設住宅借り上げ住宅制度の終了をめぐり終了解散する。地震発生1年後を目途に中間報告することを説明する。

③東日本大震災動物救護活動等支援義援金募集中間報告については、事務局から、9月30日現在1,614,253円の募金があり(社) 日本獣医師会へ送金済みであることを報告する。

委員から5,000円を上限に治療費を助成したが、実際の診療費がこの額を上回り、動物病院での超過分を負担した例が多くあると推察されるので、実態を調査し、可能な範囲で超過分の診療費の助成を県獣の予算で検討したらどうかと意見がだされ、実態調査し検討することとした。また、新潟県救済本部事業の会計について説明できるよう明らかにしておく必要があるとの意見が出された。